

國際無線電信條約並附屬規則ニ關スル各國提案追加第五

「ヘルヌ」一九三二年四月十六日

「マドリッド」國際無線電信會議（一九三二年）提案錄  
追加第五

提案錄第二部（單一條約I O、其ノ他ノ提案）

R 一四〇二 伊太利

伊太利主管廳ハ「マドリッド」會議提案錄及電信雜誌中ノ極メ  
テ重要ナル提案ヲ深ク研究シタル後左記萬國電信條約案ノ新正  
文ヲ作成セリ該條約案ハ前記提案錄中（TR 二六三）ニ掲クルモ  
ノニ代ハルモノニシテ聯合主管廳ノ審議ニ付スルモノナリ

### 萬國電信條約案

#### 第一條

條約ノ目的

本條約ヲ締結セル國ハ左記ヲ目的トスル電信聯合ヲ組織ス

- 一 電信、電話通信又ハ有線、無線若ハ其ノ他ノ電氣又ハ不視  
信號ノ方式若ハ方法ニ依ル其ノ他ノ通信ノ相互交換
- 二 及一般ニ記號、信號、文書、形像及音ノ一切ノ傳送

#### 第二條

本條約中ニ於テハ附錄Aニ掲クル用語ハ該附錄ニ於テ確定セル

意義ヲ有ス

### 第三條

條約ノ施行ニ特別協定

一 締約政府ハ各自ノ設置又ハ運用スル一切ノ「テレコムニカシオン」局ニシテ公衆通信ノ國際業務又ハ規則ニ依リ管理セラルル特別業務ヲ取扱フモノニ本條約及約定スル規則ノ規定ヲ適用スルコトヲ約ス

二 締約政府ハ又公衆通信ヲ取扱ヒ又ハ取扱ハサル國際業務ノ「テレコムニカシオン」ヲ設置又ハ運用スルコトヲ許可セラレタル私企業ヲシテ本條約及約定スル規則ノ規定ヲ遵守セ

シムルニ付必要ナル處置ヲ執ルコトヲ約ス

三 尤モ左記ニ關シテハ各締約政府及許可セラレタル私企業ハ完全ナル自由ヲ有ス

(1) 本條約及規則ニ依リ明白ニ規定セラレサル事項ニ關スル各國ノ法制

(4) 一箇又ハ數箇ノ締約政府若ハ許可セラレタル私企業トノ「テレコムニカシオン」ノ組織及此等ノ「テレコムニカシオン」ニ依リ交換スヘキ通信ノ決定、此等ノ「テレコムニカシオン」ノ運用ハ條約及附屬規則ノ規定ニ從ヒ之ヲ行フヘキモノトス

- (b) 他ノ政府及許可セラレタル私企業全般ニ關セザル業務上ノ事項ニ關シ條約及附屬規則ノ範圍内ニ於テ級テノ種類ノ特別ノ協定ノ締結

#### 第四條

設備及「テレコミュニカシオン」線路ノ組織  
運用及保護

#### 一 締約政府ヘ左記ヲ約ス

- (1) 公衆通信ノ國際業務及規則ニ依リ定メタル特別業務ノ一切ノ必要ヲ充タス爲必要ナル設備及「テレコミュニカシオン」線路ヲ協議ヲ以テ決定スルコト

#### 三

- (2) 設備及「テレコミュニカシオン」線路ヲ實務上知り得タル最良ノ條件ニ於テ設置及運用シ且成ルヘク科學及技術ノ進歩ノ水準ニ維持スルコト
- (3) 各自ノ活動ノ範圍内ニ於テ設備及國際「テレコミュニカシオン」線路ヲ保護スルコト
- 二 「テレコミュニカシオン」線路ノ陸上中繼國政府ヘ終端國ノ政府ニ對シ最低限ノ收入ノ保障ヲ要求スルコトヲ得

#### 第五條

「テレコミュニカシオン」、公衆業務

締約政府ハ何人ニ對シテモ一般「テレコミュニケーション」線路系ニ依リ通信スル權利ヲ承認ス

#### 第六條

「テレコミュニケーション」ノ秘密

一 締約政府ハ通信ノ秘密ヲ確保スル爲各自ノ採用セル「テレコミュニケーション」組織ニ適當ナル一切ノ可能ナル處置ヲ執ルコトヲ約ス

二 尤モ締約政府ハ國際條約ヲ斟酌シ司法官意又ハ其ノ他ノ官憲ニ通信ヲ通知スル權利ヲ留保ス

四

#### 第七條

無責任

締約政府ハ本條約附屬規則ニ定ムル場合ニ於ケル料金ノ還付ヲ除キ「テレコミュニケーション」ノ國際業務ニ由ル一切ノ責ニ任セサルコトヲ宣言ス

#### 第八條

公衆ニ與フル利便ノ平等ノ取扱

一 締約政府ハ通信ノ傳送及交付ニ付一層保障並ニ利便ヲ與フル爲締約政府ノ主管廳ニ依リ協議ヲ以テ決定セラレタル種々ノ方法ヲ一切ノ發信人ニ享受セシムルコトヲ約ス

二 業務及料金ハ條約又ハ規則ニ定ムル場合ヲ除キ一切ノ發行人ニ對シ同一トシ特權、先順位又ハ低減ナキモノトス

#### 第九條

##### 電報ノ停止

締約政府ハ國家ノ安寧ヲ害シ又ハ自國ノ法律、公ノ秩序若ハ風儀ニ悖ルモノト認ムル一切ノ私報ノ傳送ヲ停止スル權能ヲ留保ス

#### 第十條

##### 業務ノ停止

各締約政府ハ必要ト認ムルトキハ期限ヲ定メテ國際「テレコ

五

ユニカシオン」ノ業務ヲ全般的ニ又ハ單ニ部分的ニ若ハ通信ノ種類ヲ限リ停止スル權能ヲ留保ス但シ右ノ停止ヲ爲シタル締約國ハ聯合総理局ヲ經由シ直ニ其ノ旨他ノ締約政府ニ通知スルコトヲ要ス

#### 第十一條

##### 料金、料金免除及貨幣ノ本位

一 「テレコユニカシオン」ニ適用スヘキ料金率及此ノ「テレコユニカシオン」カ料金免除ヲ享クヘキ種々ノ場合ハ本條約附屬規則ノ規定ニ從ヒ之ヲ定ム

- 二 料金ノ構成及國際計算書ノ作成ニ方ヨリ用ウル貨幣ノ本位ハ重量三十一分十「グラム」ニシテ品位千分ノ九百ナル百「センチム」ノ金「フラン」トス
- 三 聯合國ハ其ノ料金ノ徵收ニ付「フラン」ノ値ニ成ルヘク近キ各自國貨幣ノ相當額ヲ定ム

第十二條

計算書ノ提示

締約政府及許可セラレタル私企業ハ互ニ「テレコミニニカシヤ」ノ交換ニ對シ徵收シタル料金ノ計算ヲ爲ス

第十三條

電報ノ用語及傳送ノ先順位

- 一 官報、局報及私報ハ一切ノ關係ニ於テ普通語ニ於テ之ヲ許可スルモノトス
- 二 官報及局報ハ一切ノ關係ニ於テ暗語ヲ以テ之ヲ記載スルコトヲ得
- 三 私報ハ暗語ニ於テ通信スルコトヲ許可スル國ノ間ニ於テ之ヲ交換スルコトヲ得
- 四 發信及著信ニ於テ暗語ニ於ケル私報ヲ許可セザル締約政府

ハ第十條ニ定ムル停止ノ場合ヲ除クノ外私報ヲ中繼傳送スルコトヲ要ス

五 電報ノ傳送ハ左ノ順位ニ依リ之ヲ爲ス

(1) 官報

(2) 局報

(3) 私報

尤モ官報及ヒ局報ノ發信人ハ先順位ノ權利ヲ拋棄スルコトヲ得此ノ場合ニハ官報及局報ハ傳送順位中私報トシテ之ヲ取扱フ

七

#### 第十四條

#### 制限業務

第三條第三項(4)及第十七條第一項ノ規定ニ拘ハラズ電信局又ハ無線局ハ之ヲ「テレコミュニカシオン」ノ目的ニ依リ又ハ使用スル方式ニ關係ナキ他ノ事情ニ依リ定ムル「テレコミュニカシオン」ノ制限國際業務ニ充ツルコトヲ得

#### 第十五條

各締約政府ハ名稱及特許ヲ締約政府ニ通知スル電信局及無線局ニ於テ詳細ヲ公表セサル他ノ装置ヲ特別ノ無線通信ノ爲ニ設置及經營スルコトヲ定メ又ハ許可スル權能ヲ留保ス



第十六條

條約ノ遵守ヲ強制セラレザル設備

- 一 締約政府ハ公衆通信ノ國際業務ヲ取扱ハサル電信局及無線局殊ニ海軍及陸軍ノ設備ニ關シ其ノ完全ナル自由ヲ保有ス
- 二 尤モ右ノ電信局及無線局ハ成ルヘク規則ノ規定特ニ遭難ノ場合ニ於ケル救助及混信防遏ノ爲ニ執ルヘキ處置ニ關スル規定ニ違フコトヲ要ス無線局ハ又成ルヘク其ノ局カ行フ業務ノ性質ニ從ヒ使用スル電波ノ型式及周波數ニ關スル規定ニ違フコトヲ要ス

八

- 三 右ノ電信局及無線局カ場合ニ依リ公衆通信ノ業務又ハ本條約附屬ノ規則ノ定ムル特別業務ニ従事スルトキハ右ノ業務ノ執行ノ爲規則ノ規定ニ從フコトヲ要ス

第十七條

無線電氣業務ニ於ケル特別規定

- (相互通信ノ混信ノ遭難呼出ノ虚偽ノ遭難信號及遭難呼出ノ違反ノ取調)
- 一 移動業務ニ於ケル無線通信ヲ行フ局ハ其ノ通常ノ取扱範圍ニ於テハ其ノ採用スル無線電氣方式ノ如何ニ拘ハラズ相

互ニ無線電報ヲ交換スルコトヲ要ス

二 尤モ科學ノ進歩ヲ妨ガサル爲前項ノ規定ハ他ノ方式ト通信スルコト能ハサル無線電氣方式ヲ使用スルコトヲ妨ケス但シ此ノ不能ハ其ノ方式ノ特質ニ因ルモノタルベク單ニ相互通信ヲ妨クル爲ニ採用スル裝置ノ結果タルヘカラス

三 一切ノ局ハ其ノ目的ノ如何ニ拘ハラズ成ルヘク他ノ締約政府及他ノ締約政府ニ依リ無線通信ノ公衆業務ヲ行フコトヲ許可セラレタル私企業ノ無線電氣通信又ハ業務ヲ妨ケサル様之ヲ設置及經營スルコトヲ要ス

四 各締約政府ニシテ自ラ通信事務ヲ經營セサルモノハ私企業

九

業ヲシテ此ノ規定ヲ遵守セシムルコトヲ約ス

五 移動業務ニ従事スル局ハ絕對先順位ニ於テ遭難呼出カ其ノ何レヨリ發セラレタルヲ問ハズ之ヲ受理シ同様ニ此ノ呼出ニ應答シ必要ナル處置ヲ爲ス義務ヲ負フ

六 締約政府ハ虚偽ノ遭難信號又ハ遭難呼出ヲ傳送シ又ハ之ヲ流布スルコトヲ防遏スル爲有用ナル處置ヲ採ルコトヲ約ス

七 締約政府ハ又無線通信業務ニ於テ本條約及附屬規則ノ規定ノ違反ノ取調ニ付相互援助スルコトヲ約ス

第十八條

電信局、無線局及業務ニ關スル情報ノ交換  
締約政府及許可セラレタル私企業ハ「テレコミュニケーション」  
ノ交換ヲ確保シ且容易ナラシムルニ必要又ハ有用ナル一切ノ  
事項ヲ聯合総理局ヲ經由シ相互ニ通知ス

第十九條

總理局

一 萬國電信聯合総理局ト稱シ且本條約附屬ノ規則ニ依リ其ノ  
爲ニ指定セラレタル一締約政府ノ「テレコミュニケーション」

一〇

ノ上級主管廳ノ最高權力ノ下ニ置カラル中央機關ハ國際「テ  
レコミュニケーション」ニ關スル一切ノ種類ノ報告ヲ蒐集、  
整理刊行及配布シ竝ニ一切ノ研究ヲ行ヒ且締約政府ノ「テレ  
コミュニケーション」ノ國際業務ニ關シ委託セラレタル一切ノ  
事務ヲ執行スル任務ヲ有ス

二 此ノ機關ノ運用上ニ要スル費用ハ締約政府ノ一切ノ主管廳  
之ヲ負擔ス該主管廳ハソノ爲ニ之ヲ七等ニ區分シ各等ハ左記  
ノ割合ニ於テ經費ノ支辨ヲ負擔ス

第一等

二十五部

第二等

二十部

第三等	十五部
第四等	十部
第五等	五部
第六等	三部
第七等	一部

三 締約政府ノ主管廳ハ総理局ノ經費分擔上分類セラレハキ等級ヲ総理局ト協議ノ上決定ス

第二十條

國際委員會

一 「テレコミュニケーション」ノ業務ニ關スル問題ヲ研究スル

爲委員會ヲ設置ス

二 此ノ委員會ノ數、構成、任務及執務ハ本條約附屬ノ規則ニ於テ之ヲ定ム

第二十一條

規則

本條約ノ規定ハ附屬規則ヲ以テ補足ス此ノ附屬規則ハ條約ト同様ノ價值マルモノトス

第二十二條

非締約國トノ關係

- 一 各締約政府ハ本條約ノ規定ニ加入セザル國ニ發著スル「テ  
レコミュニカション」ヲ許可スル條件ヲ定ムル權能ヲ留保ス
- 二 「テレコミュニカション」カ許可セラレタルトキハ之ヲ傳  
送スルコトヲ要シ本條約附屬ノ規則ノ義務的規定及通常料金  
ヲ之ニ適用スルコトヲ要ス

第二十三條

加 入

- 一 本條約ニ加入セザル政府ハ其ノ請求ニ依リ之ニ加入スルコ  
トヲ得

- 二 此ノ加入ハ最近ノ一般會議ヲ主宰シタル締約政府ニ且同政  
府ヨリ一切ノ他ノ締約政府ニ外交上手續ニ依リ之ヲ通知ス
- 三 加入ハ當然本條約ノ一切ノ條疑ノ遵守及本條約ニ依リ得ル  
一切ノ利益ノ享有ヲ伴フ
- 四 殖民地、保護國又ハ主權若ハ委任統治ノ下ニ在ル地域ヲ有  
スル國ノ政府カ條約ニ加入スルコトハ該政府ヨリ夫レカ爲宣  
言無キ限リ殖民地、保護國又ハ主權若ハ委任統治ノ下ニ在ル  
地域ノ加入ヲ伴ハス
- 五 此ノ殖民地、保護國又ハ主權若ハ委任統治ノ下ニ在ル地域  
ノ全部又ハ集合若ハ別々ニ其ノ各箇ハ本條及第二十八條ニ規

定スル條件ニ依リ別箇ノ加入又ハ別箇ノ廢棄ノ目的タルコト  
ヲ得

#### 第二十四條

##### 仲 裁

一 本條約及附屬規則ノ解釋又ハ施行ニ關シ二箇又ハ數箇ノ締  
約政府間ニ異見アル場合、紛争ハ外交上ノ手續ニ依リ解決セ  
ラレサルトキハ紛争政府ノ一ノ請求ニ依リ之ヲ仲裁裁判ニ付  
ス

二 右ノ政府ハ紛争ヲ付議スヘキ唯一ノ仲裁者ノ選定ニ付協議

一三

又二箇月ノ期間内ニ當該政府ノ意見一致セサルトキハ仲裁者  
ハ一九〇七年十月十八日海牙ニ於テ調印セラレタル國際紛争  
平和的處理條約第四十五條ニ定ムル仲裁者選定方法ニ從ヒ之  
之ヲ指名ス

#### 第二十五條

##### 條約ノ改正

一 本條約ノ規定ハ全權ヲ有スル締約政府ノ主管廳ノ代表ヲ以  
テ組織スル一般會議ニ依リ之ヲ改正ス

二 改正ハ少クトモ二十箇ノ締約政府カ其ノ希望ヲ表明シタル

場合又ハ次條ニ定ムル行政會議ニ依リ其ノ決議アリタル場合ニ之ヲ行フ

三 一般會議ノ開催ノ爲定メタル時期ハ少クトモ十箇ノ締約政府ヨリ請求ヲ爲ストキハ之ヲ早ムルモノトス

四 一般會議ニ於ケル討議及之ニ關聯スル文書ノ編纂ニ對スル公用語ハ佛蘭西語トス

五 討議ニ於テハ……(會議ニ於テ補足ス)

六 各一般會議ハ一切ノ討議ニ先チ議事ノ組織及進行ノ條件ヲ示ス内部規則ヲ定ム

一四 第二十六條

規則ノ改正

一 規則ハ主管廳ノ會議ニ依リ之ヲ改正スルモノトス各會議ハ次回會合ノ場所及時期ヲ定ム

二 此ノ主管廳ノ會議ハ締約政府ノ主管廳ノ代表者ヨリ成立ス此ノ主管廳ハ分擔經營及定期支出額ノ支拂ニ關シ総理局ニ對シ負債無キコトヲ要ス

三 新規則ハ之ヲ決議シタル行政會議ノ終結ノ日ヨリ一箇年後ニ於テ之ヲ施行ス但シ右期日前ニ総理局ニ對シ新規則ヲ承認シ得タル旨ヲ宣言シタル締約政府ノ主管廳ニ對シテハ此ノ限リニ非ス

同期日以後前回ノ一般會議又ハ行政會議ニ依リ採決セラレタル規則ハ之ニ調印シタルカ又ハ加入セルカ若ハ前項ノ規定ヲ適用セザリシ一切ノ主管廳ニ對シ廢止セラレルモノトス

四 主管廳會議ニ對シテハ第二十五條第二項乃至第六項ノ規定ヲ適用ス

#### 第二十七條

##### 先條約ノ廢止

巴里（一八六五年）、維納（一八六八年）、羅馬（一八七二年）聖彼得爾堡（一八七五年）ノ各電信條約及柏林（一九〇六年）倫敦（一九一二年）、華盛頓（一九二七年）ノ各無線電信條約

一五

ハ之ヲ批准シ其ノ後廢棄手續ニ依リ脫退セザリシ政府ノ多數カ本條約ヲ批准スルニ從ヒ之ヲ廢止スルモノトス

#### 第二十八條

##### 廢棄

各締約政府ハ最近ノ一般會議カ開催セラレタル國ノ政府ニ宛ツル外交手續ニ依ル通知ニ依リ本條約ヲ廢棄シ締結シタル義務ヨリ脫退スル權利ヲ有ス前記ノ國ノ政府ハ同シク外交手續ニ依リ他ノ關係政府ニ之ヲ通知ス右ノ廢棄ハ最近ノ一般會議ヲ召集シタル前記政府カ其ノ通知ヲ受領シタル日ヨリ一箇年ノ期限滿了



ノ時ニ於テ其ノ效力ヲ發生スルモノトス此ノ效力ハ廢棄ヲ爲シ  
タルモノニ限ルモノトス他ノ締約政府ニ對シテハ條約ハ效力ヲ  
存續ス

### 第二十九條

本條約ノ實施及有効期間

本條約ハ一九三三：：：ヨリ之ヲ施行ス本條約ハ之ニ代ハルヘ  
キ條約カ本條約ヲ批准シ之ニ對スル廢棄ノ效力ヲ受ケザリシ締  
約政府ノ多數ニ依リ批准セラルル時迄其ノ效力ヲ有ス

### 第三十條

批准

一六

一 本條約ハ成ルヘク速ニ批准セラレ且其ノ批准書ハ西班牙國  
政府ノ記録ニ寄託セラレヘク該政府ハ一切ノ他ノ調印政府又  
ハ加入政府ニ對シ一切ノ受領シタル批准ノ受領ヲ通知スルモ  
ノトス

二 一箇又ハ數箇ノ調印政府カ條約ヲ批准セザルコトアルモ條  
約ハ之ヲ批准シタル一切ノ政府ニ付テハ其ノ效力ヲ妨ケラレ  
ルコトナシ

右證據トシテ各全權委員ハ西班牙國政府ノ記録ニ寄託保存セラ

ルヘキ本條約ノ一通ニ署名シタリ其ノ謄本一通ハ各締約政  
府ニ交付セララルヘシ

一九三二年 月

日「マドリッド」ニ於テ作成ス

條約中ノ用語ノ定義

一 「テレコミュニケーション」ナル語ハ一切ノ電信、電話通信又ハ有線、無線若ハ其ノ他ノ電氣又ハ不視信號ノ方式若ハ方法ニ依ル其ノ他ノ通信ヲ對象トスルモノト了解ス

二 「無線電氣通信」又ハ「無線通信」トハ一切ノ種類ノ記號、信號、文言、形像及音ノ「ヘルツ」波ニ依ル無線傳送ヲ謂フ

三 「公衆通信」トハ電信局及局カ公衆業務ニ供セラルルニ由リ傳送ノ爲公衆ヨリ受理スルコトヲ要スル「テレコ

ミュニケーション」ノ線体ヲ謂フ

四 「私企業」トハ各自ノ政府ヨリ許可セラレ「テレコムニケーション」線路ヲ經營スル一切ノ個人及一切ノ私會社又ハ私團體ヲ謂フ

五 「一般ノ「テレコミュニケーション」線路系」トハ公衆業務ヲ取扱フ一切ノ方式ニ依ル通信線路ノ線体ヲ謂フ但シ移動業務ノ無線通信線路ヲ除ク

六 「國際業務」トハ國際公衆通信ヲ取扱フ「テレコムニケーション」業務ヲ謂フ國內又ハ一國ノ無線通信業務ニシテ他國ノ業務ト混信ヲ生シ易キモノハ混信ニ關シテ之ヲ

國際業務ト看做ス

- 七 「移動業務」トハ移動局及陸上局間並ニ移動局相互間ニ行ハルル無線通信業務ヲ謂フ
- 八 「公衆業務」トハ一般公衆ノ用ニ要スル業務ヲ謂フ
- 九 「制限業務」トハ特定ノ人ニ限リ又ハ特殊ノ目的ニシテ使用スル業務ヲ謂フ
- 十 「電信局」( bureau )トハ有線通信ヲ行フ爲ニ裝置セラレタル設備ヲ謂フ
- 十一 「無線通信局」又ハ單ニ「局」トハ無線通信ヲ行フ爲ニ裝置セラレタル設備ヲ謂フ

- 十二 「固定局」トハ位置ヲ變シ得サル局ニシテ同様ニ設置セラレタル一箇又ハ數箇ノ局ト通信スルモノヲ謂フ
- 十三 「移動局」トハ位置ヲ變スルコトヲ得且位置ヲ變スルコトヲ常トスル局ヲ謂フ
- 十四 「陸上局」トハ移動局以外ノ局ニシテ移動局トノ無線通信ニ使用セラレルモノヲ謂フ
- 十五 「電報」トハ電信局間又ハ固定局間ニ傳送スヘキ「テレコミュニケーション」ヲ謂フ
- 十六 「無線電報」トハ移動局ヨリ發シ又ハ之ニ著スル電報ニシテ其ノ經過ノ全部又ハ一部カ移動業務ノ無線通信

線路ニ依リ傳送セラルルモノヲ謂フ

十七 「電報」ナル語ハ「無線電報」ヲ對象トスルモノト  
看做ス但シ條文カ明カニ其ノ意味ヲ除外セルトキハ此ノ  
限リニ非ラズ

十八 「局報」 ( *télécommunication de service* ) トハ締約  
政府ノ「テレコミュニケーション」主管廳又ハ締約政府ノ  
一切ノ許可セラレタル私企業ヨリ發スル「テレコミュニ  
ケーション」ニシテ國際「テレコミュニケーション」ニ關シ  
或ハ前記主管廳協議ノ上國益トナルヘキ事件ニ關スルモ  
ノヲ謂フ

十九 「官報」 ( *télécommunications d'Etat* ) トハ國ノ首  
長、政府閣員、陸海軍及航空將師、締約政府ノ外交官又  
ハ領事及國際聯盟事務總長ノ出セル「テレコミュニケーション」  
ニ對スル返信ヲ謂  
フ

二十 「私報」 ( *télécommunications privées* ) トハ官報又  
ハ局報ニ非サル通信ヲ謂フ

二十一 「普通語ニ於ケル「テレコミュニケーション」ト  
ハ國際通信ニ於テ許可セラレタル一箇又ハ數箇ノ國語ニ

於テ了解シ得ル意味ヲ有スルモノヲ開フ

二十二

「暗語ニ於ケル」テレコミニカション」

ハ國際通信ニ於テ許可セラレタル一箇又ハ數箇ノ國語ニ於テ了解シ得ル意味ヲ有セサルモノヲ開フ

提案録第四部（一般規則）B、一般規則  
ニ關スル各種提案（第十三條第七項）

R 一四〇三 獨逸

第七項ニ左記新項ヲ追加ス

(一)ノ二 料金計算書ヲ宛ツヘキ主管廳又ハ私企業ノ名稱ノ變更ヲ爲  
船舶局名錄附錄（第十一欄）ニ掲載スルトキハ新主管廳又ハ私企  
業カ料金ヲ徵收シ始ムル日ノ記号ヲ附記スルコトヲ要ス

